

FUKUYAMA HIGH SCHOOL

同期会を開催しました

先生お久しぶり
ですね！

昭和55年卒
79期生 同期会

日時：平成23年1月2日
場所：福山ニューキャッスルホテル
約90名参加



懐かしい山下先生の挨拶

同窓生50歳を記念して、同期会を開催しました。
久しぶり友達、恩師の方々にお会いして大変嬉しかったです。

出席者からの言葉

9クラスあったので、学生時代には全然知らなかった人たちとも、同窓という懐かしさで話ができて、新しい出会いにつながりました。この会を開いてくれた、石渡さんはじめ実行委員の方に感謝です。遠くは東京、奈良、広島市からわざわざ集まってくくださった皆さん、また次回ぜひお会いしましょうね。

恩師に記念品の贈呈です



先生を囲んで記念の一枚！

平成2年卒
89期生 同期会

日時：平成24年1月3日
場所：福山ニューキャッスルホテル
約120名参加



恩師の 岡田先生・高岡先生・本倉先生・伊原先生

出席者からの言葉

集まる前は「誰が誰だか分かるかな・・・」と不安だけでしたが、始まってしまうは「きゃー！ひさしぶり！！」と感動の再会の連続。来てくださった4人の先生方が20年前と全く変わらない姿にも感動。この時間だけは、高校生に戻れたような気分でした。幹事の皆さん、このような場を設定してくれてありがとうございます！

久しぶりの再会です



司会の安達くんです

恩師を訪ねて

お世話になった先生は今…

【超～感動！！〇十年ぶりの再会】

恩師 森川実先生（昭和23年4月～昭和38年3月門田高等学校在籍）との再会に、目を細める 渡辺敏好先生。

ホームページにて井上節子先生、岡田康秀先生の近況&インタビューも掲載しております！ぜひ下記のアドレスまでアクセスしてください。

同窓会ホームページ ●福山高校同窓会 ホームページ
<http://www7.plala.or.jp/ichifuku/>



恩師の森川実先生と写真を撮る渡辺敏好先生

同窓会活動

平成24年度 同窓会総会

平成24年6月17日(日)、平成24年度総会が開催されました。来賓と恩師を含む142名の方々にご出席いただきました。藤下議長(昭和53年卒・77期生)の進行で、23年度の事業報告と収支決算報告、役員改選、24年度の事業計画と収支予算が承認され、その後の懇親会では学年ごとのテーブルで話に花が咲き、またご出席いただいた恩師の先生方に近況をお話いただきました。歴代生徒会長の対面や、バドミントン部の絆など、長い歴史と伝統を伝えることができた会となりました。お時間が許す方は是非ご出席いただき、懐かしい仲間とのひとときを過ごしてみたいはいかがでしょうか。



平成24年度 同窓会総会
実行委員長
狩野 寛和
(昭和60年卒業) 84期生

平成24年度 同窓会総会の実行委員長を勤めさせていただきました、昭和60年卒84期生の狩野寛和です。福山市の新瀬町と東町でお墓の販売施工を営んでおります。6月17日、南蔵王町の「みやび」で開催しました、同窓会総会にはたくさんの同窓生の方々に集まっていただきまして誠にありがとうございました。今後も同窓生の活躍披露の場や後輩達にメッセージを伝える場として、同窓会が関わっていければよいと感じております。



藤下議長



執行部メンバー



牧野元校長の発声で「乾杯」!



門田高校から福山高校までの歴代生徒会長ご対面



バドミントン部集結! 前列顧問の渡辺・橋本・中前・我妻先生です。



現在「朗読」でご活躍中の藤井康治先生
我妻先生です。



先生方からも学校支援金を頂戴しました。(感謝×2)



艶やか! 奥中先生のフラダンス♪

ご出席いただいた恩師の方々(敬称略・50音順)
福山高等学校元校長 牧野光良、門田 亨
門田高等学校恩師 森川 実
福山高等学校恩師 井上 節子・宇根 昌範・岡田 康秀・奥中 育子・中前 好雄
野崎 壽恵・橋本 忠之・藤井 康治・村上 侃・渡辺 敏好

有料機関誌発行のお知らせ

同窓会会員のみなさまへ

一緒に母校を
盛り立てて
いきましょう!

**機関誌の売り上げによる
全ての収益を、同窓会の
運営費にさせていただきます。**



日頃は、同窓会の運営にご理解ご協力をいただきましてありがとうございます。ご承知のように、近年の在校生の活躍は大変素晴らしいものになってまいりました。益々発展する母校を支援するためにも、同窓会として会費以外の収益を上げることを検討してはいかかかというご意見を多数いただきました。そこでこの度、福山高等学校同窓会幹事会では、様々な意見を出し合い審議した結果、同窓会及び福山高校の広報にもなる、ただ寄付をお願いするだけではない有料の機関誌を発刊することを試験的にさせて頂くこととなりました。この機関誌の売り上げによる収益の全ては同窓会の運営に充てさせていただきますので一人でも多くの方に購読をお願い致します。なお、今回は無料で全会員様に送付させて頂きましたが、次号からの購読をお願いできる方は同封させていただいた振込用紙でお振込みをお願い致します。(購読希望者が少ない場合は購読料を戴いた号での廃刊の可能性もありますことをご承願います)どうぞこの事業にご理解いただき、これからの益々の福山高校同窓会の発展と円滑な運営の為に皆様のご協力をお願い致します。

OB・OG 紹介

まずは、同窓会会報の発刊、誠にありがとうございます。
昭和36年卒60期生の宮前洋昭です。

私の勤める青山商事はお蔭様で、来年5月で創業50周年を迎えます。今振り返ると、何事においてもお客様のことを第一に考え、地道に、そして一生懸命働いてきたからこそ、ここまでやってこれたのだと思います。この50年、私がやり続けてきたことは、すべてに「感謝」することでした。わざわざご来店いただいたお客様、頑張って働いてくれる従業員、そして取引先、株主様、家族、友人、今日という1日を精一杯働かせてくれたお店、そして最後に1日頑張って働くことができた自分自身に、日々感謝してここまでやってきました。今後もこの精神を育ててくれた母校福山高校に感謝するとともに、福山高校そして同窓会が益々発展することを祈っております。



青山商事株式会社 代表取締役副会長
宮前 洋昭 (昭和36年卒業)
60期生

わたしの
モットー

すべてに「感謝」 すること。



警察官

中国管区警察局警務課
棟杉 孝 (昭和56年卒業)
80期生

私は、31年前の3月に当校を卒業し、その月末から広島県警の警察学校に1年間入校した後、地元の福山東警察署に赴任となりました。その頃は時間が許せばクラブ活動の激励や恩師を訪ねるため母校に足を運んでいましたが、警察には異動(転勤)がつきもので、時間の経過に伴って母校とは自ずと疎遠になっていました。そんな私にこの度ラグビー部OBの今井会長から近況を紹介するよう依頼を受けた次第です。

私はこれまで主に広島県内の各地で勤務してきました。現在は広島市にある中国管区警察局に広島県警から出向して1年が過ぎたところです。この職場は聞きなれない方も多いと思いますが、東京にある警察庁の地方機関で、中国5県の各県警察を管轄した仕事をしています。私はこれまでも広島県警から東京の警察大学校や、中国にある日本大使館などにも出向して勤務したことがあり、最近では平成22年にほぼ10年ぶりに地元である福山北警察署の次長として1年間勤務していました。

私が広島県警に入った31年前には、県警に福山高校のOBは同期生に僅か2人だけで、先輩の中には当校OBが一人もいなかったことから少し寂しい思いがしました。しかし、それ以降は不況による公務員志向も手伝ってか県警への就職者も次第に増加し、現在では私の知る限りでも多数の当校OBが県警のいろんな部署で活躍されており、大変心強く、また誇らしく感じているところです。今後も伝統ある福山高校の卒業生の一人として皆さんのお役に立てられればと思っています。

おわりに、月並みな言葉で恐縮ですが、福山高校と同窓会のますますのご発展を心より祈念しています。



三味線方

長唄三味線方
杵屋 浩基 (昭和58年卒業)
(本名:小川博基) 82期生

故郷に錦を飾る?福山凱旋公演?ちょっとワルノリですね(笑)
去る3月25日に由緒ある大島能楽堂をお借りして『福山凱旋公演第一回「福楽会」~長唄と落語で故郷に錦を飾る』を開催しました。

私は福山市立福山高等学校を卒業後、京都・立命館大学に進みました。高校生のときは「何になりたい。何をしたい。」何もありませんでした。「何かあるだろう。」と大学に進み出会うことが出来たのがこの「三味線」と「邦楽」でした。学業のほうは早々に単位を取得し三味線三昧の毎日!今思えば、三味線を習いに大学に進んだような...。大学卒業後は若干遠回りをしたものの現在プロの長唄三味線方として活動しております。

物事を始めるタイミングとか人生の岐路とか、そういったものは人それぞれなのでしょう。色々な芸術・演劇・音楽・人との出会い...に触れ刺激をうけることにより決まるように思います。学業はもちろん大事ですが、時には歌舞伎を観劇したり邦楽を鑑賞したりするのもいいものです。(少々、宣伝がはりました。)

故郷の福山を離れ30年、厚かましくも「故郷凱旋」錦をかざると銘打って演奏会ができましたこと本当に嬉しく思っております。

日本でも屈指の箏の産地である福山。その福山にある市立高校の文化祭で友人と結成したロックバンドでギターを弾いていたあの時こそが、今の私の邦楽人生の原点であったように思えてなりません。

Charange Week!

中学生のチャレンジウィーク 受け入れ企業募集中!

中学生が夏休みに職場体験を行っています。同窓会も協力しています。次回の受け入れ先を募集中です。お申し出、お問い合わせは福山中学校(教頭先生)までご連絡ください。

会報
Topics

「東京大学」現役合格者、現る!!



橋高 達也
(平成24年卒業) 111期生

「将来の夢」

私はこの春に東京大学への進学が決まり、夢を叶えるための第一歩を歩み始めました。私の将来の夢は、機械・コンピュータを作る仕事に携わり、社会に貢献することです。

私がこの進路をとろうと決めたのには、父の影響があります。父は電子機器関連の企業に勤めており、家でも、壊れた電化製品を修理したり、使えなくなった装置を分解して中の構造を教えてくださいました。ものづくりが好きだった私は、父のように機械・コンピュータ関係の仕事に就きたいと思うようになりました。

この分野は、原発事故の現場での作業用ロボットや、高齢者介護用のパワースーツなど、様々な方面での活躍が期待されます。具体的にどんな仕事に就くかは、大学での学びを通してじっくり考えたいと思います。

将来の選択肢を増やすために、これからも知識を吸収し、さまざまな経験を積みながら努力していきます。



相談役
小田 一美
(平成34年卒業) 58期生

「同窓会の絆」

同窓会会報第2号の発行を、同窓会の運営に携わった者として大変嬉しく思っております。

振り返ってみますと、ご縁があって母校を卒業したのが53年前で社会に出て半世紀にわたり時代の荒波を泳ぎながら、今も現役で元気に過ごさせて戴けることに感謝しております。

同窓会との関わりは昭和50年の総会に参加したのがご縁となり、時の会長であった加藤チエコ先輩と同窓会の歴史を継続する為に2度も会長をなされた平田静子先輩から、「昭和24年に発足した同窓会の歴史の灯を消してはならない、そのために貴方達若者が少しでも会の運営に係わり後生に繋ぐ役割をしてほしい」と諭されました。両先輩のお話を聞き、これも何かのご縁と思い自分に出来るお手伝いをさせて頂くお約束をしたのが始まりで、平成22年度の総会に於いて世代交代ができるまで、35年間の関わりの中で多くの方々との出会いがあり、絆が生まれました。

どうか後輩の皆さまも同窓会のご縁を大切に絆の輪を広げられ、母校の後方支援と社会貢献ができる同窓会となり益々発展し、会報誌の継続ができますことを期待しております。

次回総会連絡と OB・OG 所在連絡

同窓会総会は、毎年6月の第3日曜または土曜日に開催いたします。

◇次回は平成25年6月15日(土)18:00～

※場所は、ホームページにてお知らせいたします。

住所不明会員の所在連絡について

当同窓会では、会員名簿情報の管理を「株式会社サラト」に委託しております。名簿に記載されている住所が正しくないと、同期会等のご案内をお送りすることができません。万一、会報が届いていないという同期生がいらっしゃいましたら事務局までお知らせください。株式会社サラトより確認の連絡を差し上げます。なお、個人情報保護などセキュリティの観点から本人以外の方からの住所変更には応じられない場合がありますのでご了承ください。

同窓会ホームページ

どんどんアクセスして下さいね!!

●福山高校同窓会 ホームページ

<http://www7.plala.or.jp/ichifuku/>

お問い合わせは

●福山高校同窓会 メールアドレス

e-mail ichifuku-dousou@sky.plala.or.jp

OB・OG 大集合

本誌掲載希望店・企業など大募集!

本誌のOB・OG紹介コーナーにて、あなたのお店や企業をPRしてみませんか? ご興味のある方は上記までお気軽にお問い合わせください!お待ちしております。

本誌掲載企画・アイデア大募集!

本誌に掲載してみたい企画を大募集!詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。

OB お店の紹介 飲食店「海鮮市場 たんと」



有限会社 たんと
代表取締役社長

藤井 強詞
(平成5年卒業)
92期生



お造り五点盛 1,280円

福山市元町13-21 宮通りビル ■お問い合わせは 084 (928) 5465



会報誌の
タイトルを
募集しています!!
次号会報誌のタイトルを皆様からの公募により集められたものの中から決めさせていただきます!詳しくは同窓会ホームページをご覧ください。



同窓会「シンボルマーク」採用の経緯

昭和44年に我々の母校が学校法人門田学園から福山市に移管され、福山市立福山高等学校と校名変更され、その時に同窓会の在り方が議論されました。関係者の中では新たな学校としての出発を意識した意見と、歴史を重要視する意見とに分かれましたが、初代校長に就任された館上校長先生の決断で同窓会の継続が決まりました。数多くの学校が移管時に、旧同窓会を存続させない例もある中で、福山高等学校にあっては、諸先輩の知恵と財産が継承されることになりました。こうした中で同窓会は移管時に制定された校章を、同窓会のシンボルマークとして採用しております。